

裾野市	所属議員	浅田基行、井出悟
------------	------	----------

産業目線

【活動選定項目】	①誰もが自由に安心して移動できるモビリティ社会の実現	
具体的取り組み項目	<p>【2022年3月までに】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「カーボンニュートラルシティ宣言」などを早期に発出させ、低炭素時代を1段高い意識醸成の取り組み展開をモビリティを活用した一層のカーボンニュートラルの取り組みとの連携強化を要望。 ●定例会での提案活動の継続 ●規制緩和などの手法により総括的かつ柔軟に対応できる手法の検討 ●移動の自由を実現する次世代モビリティへの社会受容性を高める機会の創出を検討 ●会派要望項目における移動の自由の実現に向けた提言項目の履行状況の確認 ●安心して高齢者の免許返納がすすむ環境の創出に向けた制度構築の提案 	
前回まで活動状況	<ul style="list-style-type: none"> ●2021年10月5日の市議会全員協議会で、市民や事業者の方々とともに地球温暖化対策への取り組みを進めるため、「カーボンニュートラルシティ」を宣言した。 ●「カーボンニュートラルシティ宣言」の中で、シェアモビリティの必要性などについて言及し、公用車のシェアモビリティ化を提案したが、議論は平行線となっている。 ●小学校、中学校において市の要望を会社に繋ぎ、燃料電池車 MIRAI を活用した防災教育の実施を提案。 ●高齢者が免許返納をし易くなる公共交通の構築を代表質問で提案。 	
今回具体的活動	<ul style="list-style-type: none"> ●浅田基行議員の一般質問で、カーボンニュートラル実現に向けた公用車の転換について提言し、村田市長より今後検討する旨の答弁を得た。 ●井出悟議員の一般質問で、公用車の削減と並行して、給電機能を持つ MIRAI などへの転換を求めたが、議論は平行線となった。 ●市が運行する「すそのーる」および「青葉台線」、富士急シティバスが運行する「東急線」が、令和4年3月31日をもって運行を終了した。廃止路線に代わる新たな路線として、令和4年4月1日から「裾野市内循環線」の運行を開始するが、会派を中心に議会で、市民の積極的活用に向けた検討会を発足し活動を開始した。 ●小中学校の再編検討にあたり、スクールバス、地域コミュニティ交通などシェアの可能性について調査。湖西市で取り組む「湖西市企業シャトル BaaS 事業」「コーちゃんバス事業」などを参考に、調査提案を実施した。 	
今後の活動	<ul style="list-style-type: none"> ●モビリティを活用したまちづくりの実現に向けて、企業版ふるさと納税制度を活用できる地域再生計画の見直しを提案活動を実施。 ●行財政構造改革を加速的に実現させ、モビリティ導入（投資）ができる体制の実現に向けた提案活動を実施。 ●会派要望項目における移動の自由の実現に向けた提言項目の履行状況の確認 	

<トピックス>
 ① 静岡県で最年少の裾野市長(34)が誕生
 ② 静岡県で最年少の裾野市副市長(27)が誕生、総務省→(株)グラファー出身